

小児



コーナー

北病院 小児科医師
近藤 知己

アレルギーの検査

アレルギーの検査には、血液検査、皮膚検査などがあります。この中で皮膚検査は、皮膚に多くの傷や皮内注射をする為、子どもへの負担が大きいと考え、北医療生協では行っておりません。血液検査の多くは血液中のIgE抗体を測定しています。これはアレルギーを起こす免疫タンパク質で、その量と何に対する抗体が多いか測定しています。アトピー性皮膚炎や、アレルギー性鼻炎などが疑われ、症状が治りにくいときは、血液の検査を勧めています。乳児期はこの抗体の量が少ないので、6か月を過ぎるのを待って検査していますが、乳児ですので採血するのは大変です。症状や経過を見て検査をするかどうかを判断しています。ご心配な方はお近くの北医療生協の病院、診療所のスタッフまでご相談ください。

